



出丸

でまる

出丸は、本丸の北東に位置し、北の丸との間は水堀で隔てられています。
現在は第一中学校と代陽小学校の敷地となっています。



あさいじんじゃ
浅井神社

出丸内には、浅井神社（八王社）があり、今でも「やつおうさん」と呼ばれ、

親しまれています。境内には樹齢1,000年といわれる大楠があります。浅井神社には妙見神を道案内した海神八大竜王が祀られています。



織田信長を供養する 泰巖寺跡

八代城に入った細川三斎は、父^{ゆうさい}幽斎（^{ふじたか}藤孝）の菩提寺泰勝院を小倉（北九州）から出丸へ移築しました。正保2年（1645）、三斎が亡くなると泰勝院にあった^{かんとうえん}甘棠園で^だ茶毘に付されました。この寺は後に、三斎が^{おだのぶなが}織田信長を弔うために創建した^{たいがんじ}泰巖寺となりました。泰巖寺は明治に廃寺となりましたが、その^{ぼんしょう}梵鐘は^{こうえんじ}光圓寺（通町9-6）、本堂は^{じょうたくじ}浄沢寺（古閑中町498）に譲られ、三斎が信長供養のために建てた^{ごりんとう}五輪塔は第一中学校敷地内にいずれも現存しています。